

A-01 日本画材料研究

講師／瀬永 能雅 (セナガ タカマサ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース 教授
 科目／日本画実技 他
 可能日／木・金曜日
 形式／実技・ワークショップ

【講義内容】

日本画体験者向けに、紙や墨、各種顔料の特性を解説し、納得できる技法を学びます。参加者のニーズ、興味に合わせて出来るだけ対応いたします。



■必要機器／運筆ができるような教室環境

■受講者に事前に準備していただきたい内容／筆（大・中・小）、墨、絵の具皿

■受講される方にひとこと／扱いが難しいと言われる日本画の材料ですが、知ることで面白さ変わっていきます。

A-02 超デッサン

講師／瀬永 能雅 (セナガ タカマサ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース 教授
 科目／日本画実技 他
 可能日／木・金曜日
 形式／実技・ワークショップ

【講義内容】

思い通りに描くためのポイントを解説し、モチーフを観察しながら自覚を促していきます。見方を変える事で、自分の限界を超えるお手伝いをさせていただきます。

■必要機器／デッサンを行える環境

■受講者に事前に準備していただきたい内容／デッサン用具一式（画用紙数枚かスケッチブック、鉛筆、練りゴム、カルトン又はパネル、クリップなど）

■受講される方にひとこと／自分がものをどうみているか自覚するためのプログラムです。

A-03 ゲンダイ水墨画講座 ―ニジミ・ボカシ・フデノアト―

講師／長谷川 喜久 (ハセガワ ヨシヒサ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース 教授 美術領域主任
 科目／日本画実技 他
 可能日／月曜日
 形式／実技・ワークショップ

【講義内容】

墨という画材の特質を説明、実際に制作する事でその画材への興味と親しみを持ってもらいます。古典技法だけではなく、時代に即した現代絵画的使用方法も交えながら、満足度の高いワークショップ作品制作を進めていきます。

■必要機器／特になし ■受講者に事前に準備していただきたい内容／和紙（表面ドーサ引き）、パネル、墨、硯、筆、2B 鉛筆
 ※ご要望であれば相談の上全てこちらで準備する事も出来ます。

■受講される方にひとこと／この講座では従来からある水墨画の印象に現代的な視点を加えた作品を制作いたします。皆さんお楽しみください。



A-04 日本画体験

講師／山守 良佳 (ヤマモリ ヨシカ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース 講師
 科目／日本画実技 他
 可能日／要相談
 形式／実技・ワークショップ

【講義内容】

日本画とは何か。その歴史に簡単に触れ、和紙、岩絵の具、溶剤の膠を使い日本画の小作品を制作します。所要時間は1時間から2時間程度です。

■必要機器／水が使える作業環境が必要です。

■受講者に事前に準備していただきたい内容／野菜、果物、花、貝殻などモチーフをご持参ください。

■受講される方にひとこと／伝統的な日本画材の美しさを楽しんで体験しましょう。



A-05 絵画の魅力は線の魅力

講師／吉本 作次 (ヨシモト サクジ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 洋画コース 教授
 科目／洋画実技 他
 可能日／土・日・月曜日
 形式／講義

【講義内容】

絵を鑑賞したとき、どうしてこれが名画なの？と首をひねった方は多いと思います。どんなに描かれた意味や時代背景を説明されても、理解と感動は別です。実は、絵画のプロはまったく違う視点を持っています。その秘訣をお教えします。線が分かれば絵画が分かります。

■必要機器／PC、プロジェクター、スクリーン

■受講者に事前に準備していただきたい内容／特になし

■受講される方にひとこと／画像や漫画、音楽等を活用して講義を行います。お気軽にご参加ください。



A-06 絵画作品における筆致の関係

講師／須田 真弘 (スダ マサヒロ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 洋画コース 教授
 科目／洋画実技、クロッキー、美術研修、同時代表現研究、絵画技法演習2

【講義内容】

絵画における筆致をテーマに、そのイメージが時代と共に変化する一方、筆致も表現をするアーティストの考えや身体的な影響を受けながら出現します。美術史や現代アートの中で展開される様々な作品を紹介しながらお話をします。

可能日／月・土・日曜日

形式／講義

■必要機器／プロジェクター、スクリーン、マイク（ノートパソコンは持参します。）

■受講者に事前に準備していただきたい内容／美術館などでの絵画鑑賞

■受講される方にひとこと／気楽な気持ちで参加してください。



A-07 ドローイングワークショップ



講師／須田 真弘 (スダ マサヒロ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 洋画コース 教授
 科目／洋画実技、クロッキー、美術研修、同時代表現研究、絵画技法演習2

可能日／月・土・日曜日

形式／実技・ワークショップ

【講義内容】

身近なものや身体を活用して、短時間でのクロッキーや線描きによるドローイングのワークショップを行います。また事前にドローイングについての簡単なお話をします。

■必要機器／制作するための適度なスペース、講義をする場合はプロジェクターなど

■受講者に事前に準備していただきたい内容／描画材料、スケッチブック、紙など

■受講される方にひとこと／気楽な気持ちで参加してください。

A-08 描き方から見るピーター・ブリューゲルの絵画



講師／中澤 英明 (ナカザワ ヒデアキ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 洋画コース 教授

科目／洋画実技、絵画技法材料論1・2

可能日／月曜日 (水は可能な日もあり)

形式／講義

【講義内容】

油絵と一口に言っても、時代や地域により描き方や使われた材料が異なります。技法材料学的観点から、450年を経た今も美しい状態で我々に感動を与えてくれる16世紀オランダの画家ピーター・ブリューゲルの絵画の秘密に迫ります。

■必要機器／PC、プロジェクター、スクリーン

■受講者に事前に準備していただきたい内容／画集やネットでブリューゲルについて調べてみましょう。

■受講される方にひとこと／日頃の制作や、鑑賞の一助となれば幸いです。

A-09 熊谷守一の絵が語りかけてくること

講師／中澤 英明 (ナカザワ ヒデアキ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 洋画コース 教授

科目／洋画実技、絵画技法材料論1・2

可能日／月曜日 (水は可能な日もあり)

形式／講義

【講義内容】

岐阜県美術館蔵の熊谷守一作「ヤキバノカエリ」は、熊谷のエッセンスが凝縮した作品です。その19年前に描かれた大原美術館蔵「陽の死んだ日」との比較を通し、画家の生き様や人生に対する考え方表現のあり方の変遷を辿ります。

■必要機器／PC、プロジェクター、スクリーン

■受講者に事前に準備していただきたい内容／画集やネットで熊谷守一について調べてみましょう。

■受講される方にひとこと／日頃の制作や、鑑賞の一助となれば幸いです。

A-10 アーティストの活動内容 (現代美術)



講師／秋吉 風人 (アキヨシ フウト)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 現代アートコース 准教授

科目／洋画実技 II-1、洋画実技 II-2、美術実技(洋画)3-1[洋画2]、美術実技(洋画)3-2[洋画2]

可能日／木曜日

形式／講義

【講義内容】

学生時代から現在まで、アーティストとしてどのような活動を行ってきたかを、画像や参考資料を用いながら紹介します。

■必要機器／プロジェクター、スクリーン、マイク、延長コードなど

■受講者に事前に準備していただきたい内容／特になし

■受講される方にひとこと／現代のアートがどのような仕組みで社会と繋がっているかの一例を知ってもらえる機会になればと思います。

A-11 創造と捏造のあいだ



講師／田村 友一郎 (タムラ ユウイチロウ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 現代アートコース 准教授

科目／洋画実技 II-1、洋画実技 II-2、洋画実技 III-1、洋画実技 III-2、洋画実技 IV-1、洋画実技 IV-2、同時代表現研究

可能日／木曜日

形式／講義・ワークショップ

【講義内容】

創造とはいかなるものか。ある学者は「異質の情報や物を今までにはない仕方と結合し、新しい価値をつくりだす過程」とした。創造は無から有をつくることではないとすれば、捏造もあながち創造とは遠くない距離にある。

■必要機器／プロジェクター、スクリーン、スピーカー、マイク ※PCは持参します。

■受講者に事前に準備していただきたい内容／特になし

■受講される方にひとこと／創造を捏造と言い換えてみます。何が起るのか想像してみてください。

A-12 アートコーディネーター・アートマネジメントの仕事



講師／吉田 有里 (ヨシダ ユリ)

コース／芸術学部 芸術学科 美術領域 現代アートコース 准教授

科目／美術文化各論、芸術計画演習 他

可能日／要相談

形式／講義

【講義内容】

現代美術分野のアーティストとともに作品の制作に必要なサポート、発表の場づくり、鑑賞者や社会との橋渡しをするのがアートコーディネーター・マネジメントの仕事です。事例とともに仕事について紹介します。

■必要機器／プロジェクター、スクリーン

■受講者に事前に準備していただきたい内容／特になし

■受講される方にひとこと／アートにまつわるお仕事に興味がある方への講義になります。気軽に参加ください。

A-13 クロッキー (対象を探る)

講師/岩井 義尚 (イワイ ヨシナオ)

コース/芸術学部 芸術学科 美術領域 コミュニケーションアートコース 教授
 科目/美術実技 (彫刻)、美術実技 (木彫)、木彫技法、クロッキー、
 ドローイング

可能日/月・水曜日

形式/実技・ワークショップ

【講義内容】

絵画・彫刻・イラスト(挿絵他)・マンガなどに登場する人物・動物の動きや量感の表現方法を探ります。トレーシングペーパーを使用します。(60分～)

■必要機器/特になし ■受講者に事前に準備していただきたい内容/各自の気になる絵画・彫刻・イラスト・マンガ等の資料、又は描いた物、A4サイズ以上のクロッキーブック(スケッチブック)、筆記用具(鉛筆)

■受講される方にひとこと/その場でモデル(コスチューム)になったり、描いたりします。



A-14 デッサン・ドローイング (透視図法)

講師/岩井 義尚 (イワイ ヨシナオ)

コース/芸術学部 芸術学科 美術領域 コミュニケーションアートコース 教授
 科目/美術実技 (彫刻)、美術実技 (木彫)、木彫技法、クロッキー、
 ドローイング

可能日/月・水曜日

形式/実技・ワークショップ

【講義内容】

場面や背景を表現するためのレッスンとして、教室内で見えるもの・窓枠・黒板(ホワイトボード)・机・椅子・人物などをモチーフにして実際に描いてみましょう。(如何に早く確実に捉えるかを探ります)(90分～)

■必要機器/特になし

■受講者に事前に準備していただきたい内容/筆記用具(鉛筆等)、A4サイズ以上のクロッキーブック(スケッチブック)

■受講される方にひとこと/その場で実際に描きます。

A-15 アートのお仕事

講師/松岡 徹 (マツオカトオル)

コース/芸術学部 芸術学科 美術領域 コミュニケーションアートコース 准教授

科目/アイデアとエスキース、ペーパーメイキング、アニメーション他

可能日/月・水曜日

形式/講義

【講義内容】

これからの社会に必要なアートの力ってなんだろう? 自分の才能やアイデアを生かしていくにはどうしたらいいの? 美術とデザインの違いとは? など、様々なクリエイターの写真や映像をお見せしながらお話しします。

■必要機器/プロジェクター(持参も可能)、スクリーン

■受講者に事前に準備していただきたい内容/どんな美術やデザインに興味があるか自分の周りを観察してください。

■受講される方にひとこと/ものを作る力、アートの力で社会で活躍できるクリエイターになろう!



A-16 アイディアとドローイング

講師/松岡 徹 (マツオカトオル)

コース/芸術学部 芸術学科 美術領域 コミュニケーションアートコース 准教授

科目/アイデアとエスキース、ペーパーメイキング、アニメーション他

可能日/月・水曜日

形式/講義

【講義内容】

クリエイターは作る仕事ですが、観察し情報を集め、アイデアを出すことも技術と同じように大切です。1つのテーマに対しドローイング(エスキース)を描いて様々なアイデアを出していく授業です。

■必要機器/プロジェクター(持参も可能)、スクリーン、紙(コピー紙程度)、鉛筆

■受講者に事前に準備していただきたい内容/自分ならどんなものを作りたいか想像してください。

■受講される方にひとこと/自分が考えたものが現実になっていくプロセスを体感してください。

A-17 みえないをみる ―ねんどでできるかたち―

講師/中田 ナオト (ナカダナオト)

コース/芸術学部 芸術学科 美術領域 工芸コース 准教授

科目/美術実技1-1(美術ファンデーション)、美術演習3-4
 (プレゼンテーション)、美術実技4-5(陶芸・ガラス)他

可能日/要相談

形式/実技・ワークショップ

【講義内容】

私たちは多くの情報を視覚に頼って生きています。しかし、意識的に見ようとしなければ見えていないようです。そこで視覚を遮断し、触覚や聴覚など視覚以外の感覚を頼りにねんどを使って受け止めた感覚を形にします。

■必要機器/粘土板(木製の板)、プロジェクター、スクリーン、延長コード ■受講者に事前に準備していただきたい内容/目隠しのできるもの、汚れてもよい服装 ■受講される方にひとこと/出来上がるものに良し悪しはありません。皆さんが感じたままを、または手探りで出会ったものが、皆さんにとっての正解です。身体感覚と素材を頼りに作ってみましょう。



A-18 日常とアート&デザイン

講師/中田 ナオト (ナカダナオト)

コース/芸術学部 芸術学科 美術領域 工芸コース 准教授

科目/美術実技1-1(美術ファンデーション)、美術演習3-4
 (プレゼンテーション)、美術実技4-5(陶芸・ガラス)他

可能日/要相談

形式/講義

【講義内容】

私たちの日常は、アートとデザインで溢れています。思いがけない風景に出会った時には、ハッと驚いたり、なんだか気持ちが高揚したりします。日常の風景を切り取り、様々な視点でアートとデザインのお話をします。

■必要機器/プロジェクター、延長コード、スクリーン

■受講者に事前に準備していただきたい内容/普段の生活の中で、アートとデザインについて思いを巡らせてみてください。

■受講される方にひとこと/思いもよらない発見やもの見方について、きっかけとなる時間が持てることを期待しています。

A-19 情報社会におけるアートの役割



講師/岡川 卓詩 (オカガワ タクジ)

コース/美術総合コース 准教授

科目/アート概論、美術実技 (アニメーション・メディア表現・平面表現) 他

可能日/要相談

形式/講義

- 必要機器/プロジェクター、スクリーン、スピーカー
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし
- 受講される方にひとこと/いつも触れているスマホからアートに対する新しい見方を発見しましょう。

【講義内容】

この情報社会において、アートはどのような役割を担っているのでしょうか?インターネットや多様なメディアとアートの関係性をさまざまな事例を紹介しながら、この時代におけるアートの意義について読み解いていきます。

A-20 美術教育とアール・ブリュット



講師/松實 輝彦 (マツミ テルヒコ)

コース/芸術学部 芸術学科 美術領域 教授

科目/美術科指導法、デザイン史、美術文化演習

可能日/月・水曜日

形式/講義

- 必要機器/プロジェクター、スクリーン、OHC、DVDプレーヤー
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし
- 受講される方にひとこと/美術と教育の関わりを見直すことで、視野を広げる契機になればと考えます。

【講義内容】

特別支援学校で美術教育に携わってきた経験を通して、造形活動とアール・ブリュットとの関係について、事例を挙げながら講義を行います。